

雛人形としての役目を終えて引退後、日野町のまちなかで第二の人生を送っている福よせ雛たち。そんなお雛さまたちは、今日は何をして過ごしているのでしょうか？



プレゼントの準備はバッチリ！

オクラとモロヘイヤのねばねば和え

カンタン！時短！
おすすめレシピ



《材料》（3人分）

- オクラ 6本
- モロヘイヤ 100g
- かつお節 2g
- めんつゆ 適宜

《作り方》

- ① モロヘイヤは茎から湯につけ、1分程ゆでて冷水にあげる。オクラは1～2分程ゆでる。
- ② ゆでたオクラとモロヘイヤを刻んでボウルに入れ、かつお節を加えて混ぜる。
- ③ 食べるときにめんつゆを少しかける。



《コメント》

★そのままでもいいですし、ご飯やうどんにのせて食べるのもおすすめ！

【1人分】 エネルギー（23kcal）、たんぱく質（2.7g）、脂質（0.2g）、ビタミンC（25mg）、食塩相当量（0.2g）

【連絡先】 オシドリグループ事務局 森田（電話72・0271）

「夏草や 兵どもが 夢の跡」
を借用すると、「夏草や 鶯」
の語らい 今いすこ」と
なります。

松尾芭蕉の有名な俳句

観察小屋周辺には夏草が生い茂っています。1m以上もある大草は風にたなびき「我ここにあり」と誇らしげです。
オシドリが踏みつぶして草一本もなかったエサ場はどこへ行ったのでしょうか。時には愛をささやき、時にはライバル同士のバトル戦を繰り広げたエサ場はどこにも見当たりません。

田や畑、庭の草取りをしている方から、「かなわんなあ、草に負けそう」という声が届きました。猛暑の中、どうぞお大事に！

あと2カ月もするとオシドリが帰ってきます。北で産まれたヒナ鳥も一緒に飛来してくるでしょう。それまでに河川敷の夏草を退治しなくてはなりません。草払機の出番ですね。人知れず仲間の活動が始まります。きめ細かい受け入れ体制があったから、オシドリが日野町を選んでくれたと自負しています。

オシドリにゆ〜す VOL.332 ～夏草や～



ちょっとおすまし、ハイポーズ♪
【撮影者】田邊久雄さん（倉敷市）

